



熱射病にご注意を！

毎日、暑い日が続きますね。暑さに弱いワンちゃん・ネコちゃんにとって、夏はしんどい季節です。今回は、この時期注意していただきたい、**熱射病**についてお話しします。

熱射病とは？

熱射病は、主に高温の環境にさらされることによりおこる体温の過度の上昇と、それに伴う病態のことです。

夏場、十分な日よけなどがない戸外で飼育されたり、飼い主が買い物中、すぐだからと車に放置されたり、炎天下の散歩時などによく発生します。特にパグなど短頭種はリスクが高く、また気管に持病があったり、普段からガーガーいうなど上部気道に問題がある場合、そして肥満も重大な要因となるので、注意してください。

熱射病の症状は？

はじめに見られる症状は、**早いあえぎ呼吸・多量のよだれ・脈の増加・粘膜の充血**・そして**高体温**（直腸温で40.5度以上）です。さらに進行すると、**虚脱**（ぐったり力が抜ける）・**神経症状**（けいれん発作など）・**下痢・嘔吐・脈の低下**などが見られるようになり、やがて死にいたることもあります。

熱射病が疑われたら？

すぐに動物病院へ連絡し、状態を伝えて、指示にしたがってください。

応急処置として、動物を涼しい場所へ移動させ、**体を水でぬらし送風する**（扇風機やクーラーを利用）、**首や脇や内股にぬれタオルを当てる**などして、冷やしてください。この時、氷水など極端に冷たい水は使用せず、冷やしすぎにも注意すること。そして、**なるべく早く動物病院を受診する**ようにしましょう。

以上、熱射病は命を脅かす恐ろしい病気であることを忘れないでください。予防のため、

- 1、お散歩は涼しい時間に、距離も短く、
- 2、屋外飼育の場合は、風通しのよい十分な日陰を確保する、
- 3、室内飼育の場合は、クーラーなどを上手に利用する、
- 4、飲み水を欠かさない、
- 5、車中には短時間でも放置禁止、

これらのことをきっちり守るようにしてあげてください。

また、**体調・年齢・肥満**などによりそのリスクが左右されます。普段から、愛犬・愛猫の健康管理をしっかりしてあげて下さいね。

